

公益社団法人 日本動物学会 北海道支部  
2014年度 第2回支部役員会議事録

日時：2015年4月23日（木）10：00～11：45

場所：北海道大学理学部5号館813室

出席者：高畑雅一、山下正兼、栃内新、黒岩麻里、荻原克益、西野浩史、春見達郎、木村敦、鈴木仁、林要喜知、松島俊也

欠席者：高久元、三浦徹、山羽悦郎、松原創、相馬雅代、都木靖彰、荒井克俊、青沼仁志

### 報告

#### （1）庶務中間報告

荻原克益幹事（2014年度庶務幹事）から、2014年7月1日～2015年4月22日までの①支部会員数、②支部役員会、③支部大会、④北海道支部講演会（5回開催）、⑤支部後援について中間報告がなされた。

#### （2）会計中間報告

荻原克益幹事（2014年度会計幹事の青沼仁志幹事の代理）から、2014年7月1日～2014年4月22日までの会計中間報告がなされた。

### 議題

#### （1）2015年度（平成27年）支部大会について

山下支部長より平成27年度の支部大会について、(1)北大オープンキャンパスの前日（8月1日）に支部大会を開催する、(2)全国のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に案内メールを出し、高校生主体の発表を行ってもらおうという提案がなされた。議論の結果、8月1日に開催する方向で準備を進めること、また、道内の各高校およびメールアドレスを取得可能な全国のSSH指定校宛に支部大会参加の可能性の有無を尋ねる案内メールを送付し、その結果により、6月末を目途に支部大会の内容を決定することとした。また、北海道大学理学部生物科学科（生物学専修）の協力も得て、支部大会を開催することで意見が一致した。

#### （2）将来計画委員会からの改革案に関する回答について

将来計画委員会から以下の3案が提案され、支部としてどれに賛成するか、意見の集約を行った。

案 1 支部選出理事を増員し、若手・女性枠を設ける

案 2 支部選出理事を増員し、理事に定年制を設ける

案 3 支部選出理事以外に会長推薦理事を設ける

議論の結果、北海道支部としては、案 3 に賛成することとなった。ただし、「会長推薦理事の選出にあたっては、候補者自身と当該候補者が所属する支部の支部長の了承を必要とする」という項目を追加することを前提とする。

### (3) 2015年度北海道支部活動計画について

平成27年8月に北海道大学で支部大会を開催予定であるが、それ以外に支部が主催する公開講演会等を企画している場合には提案してほしいとの発言が山下支部長よりあったが、特に公開講演会等の提案はなかった。

平成27年度事業計画として、1. 支部大会：8月1日（土）に北海道大学理学部で開催予定、2. 支部講演会：随時開催予定（年間数件を予定）を本部に提出することとした。予算は15万円を計上する。

### (4) 2018年度大会について

2018年度の本大会は、北海道支部が担当する予定となっている。前々回は、函館、前回は旭川で開催されたので、2018年度は札幌で開催したいとの提案が山下支部長からあった。この提案に対して特に異論はなく、札幌での開催が決定した。会場の候補として、北大と札幌コンベンションセンターが挙げられ、これに関して活発な議論が行われたが、会場や日程等の具体的な内容は、今後設置される準備委員会に委ねることとした。

### (5) 支部大会のローテーションについて

現在、支部大会の開催は札幌地区と西部地区で持ち回りとしているが、以前のように東部地区もローテーションに加えることにしたいとの提案が山下支部長よりなされた。これに関して特に反対意見はなく、今後は東部地区もローテーションに加えることとなった。具体的には、2015年度は札幌地区、2016年度東部地区、2017年度札幌地区、2019年度西部地区（2018年度は本大会開催のため支部大会はなし）となる。

また、支部大会費についても議論が交わされ、支部大会費として7万円を確保することを決めた。一方、経費の節約も積極的に進めることとし、当該年度の予算状況を加味し、支部大会準備委員会で具体策を実行することが確認された。

### その他

経費削減対策として、役員会に web 会議を導入したらどうかという提案があ

り、松島委員から Google Hangout のデモ紹介があった。将来的に、必要に応じて札幌、旭川、函館等を結んだ Web 会議を実施する方向で継続的に審議することとなった。

文責：2014 年度庶務幹事 荻原克益